

令和3年度一般会計決算を認定

歳入総額 **195億4,824万円**
(前年度比 14.2%減)

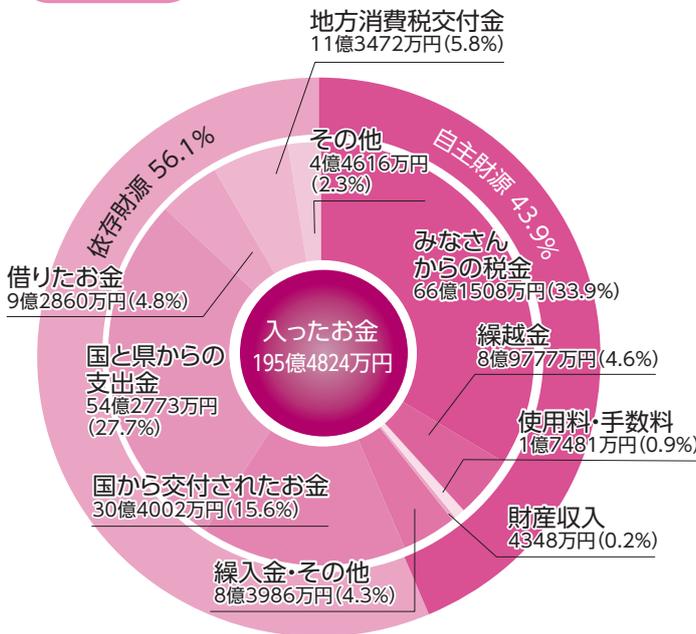
歳出総額 **179億9,289万円**
(前年度比 17.8%減)

形式収支額
翌年度へ繰り越すべき財源
実質収支額(決算剰余金)

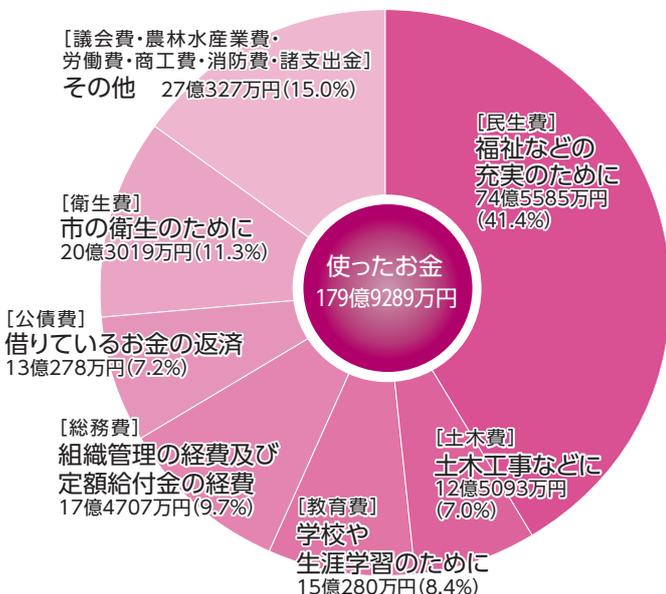
15億5,535万円
1億417万円
14億5,118万円

令和3年度一般会計の決算状況

歳入



歳出



歳入・歳出

令和3年度の歳入では、国と県からの支出金が54億2773万円となり、前年度にくらべ、9607万円、率にして42.39%の減となりました。

この減となりました。これは令和2年度の特別定額給付金があったためです。歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種の推進、新生児特別

定額給付金の支給、米価下落の影響を受けている農業者に支援金の支給、ハッピーメール応援券の配布などが行われた。また、令和4年1月からは、市内循環バスの運行が開始されました。

9月定例会 令和4年第3回 幸手市議会定例会

令和4年9月定例会は、9月1日から9月29日までの29日間の会期で開かれました。市長提出議案は、水道事業会計等の未処分利益剰余金の処分2件、令和3年度一般会計・特別会計決算の認定8件、条例改正4件、市道路線認定・変更2件、公の施設に関する協議1件、規約の変更1件、令和4年度一般会計・特別会計補正予算7件、人事案件1件の合計26件でした。審議の結果、いずれも原案の通り認定、可決、同意されました。一般質問は、13人の議員が市政をただしました。

一般会計・特別会計の決算状況

一般会計及び特別会計決算では、次ページ下欄にあるように歳入決算額から歳出決算額を引き、翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支額がすべて黒字でした。

令和4年9月定例議会
本会議議案質疑内容

(議案第33号)
令和3年度幸手市一般会計
歳入歳出決算の認定について

質疑
民生費の増加の要因と今後の見通しについて伺います。

答弁
令和3年度の民生費の決算は、74億5584万8千円です。令和2年度と比べ9億5921万4千円、14・8ポイント増加しています。増加の要因は、国の緊急経済対策による子育て世帯への臨時特別給付金6億35万円、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金4億4770万円などの支出により、大幅な増加となったものです。

今後の見通しは、高齢化の進展により、介護保険特別会計に対する一般会計の繰出金など、高齢者福祉関係費が増加しているものと見込まれます。また、障害福祉費においても、障がい児通所給付費等が増加傾向にある

など、民生費全体として増加していくものと考えています。

質疑
年度末の決算時におけるワクチン接種の接種総回数と総経費について伺います。

答弁
接種総回数は、10万7204回です。内訳として、1回目が4万2213回、2回目が4万1663回、3回目が2万3328回となっています。次に総経費ですが、令和3年度は6億4132万6192円の支出です。

(議案第37号)
令和3年度幸手市農業集落
排水事業特別会計歳入歳出
決算の認定について

質疑
汚泥処分業務委託について、汚泥の量、最終処分先を伺います。

答弁
各家庭から排水に含まれたごみをスクリーンで除去したものをし渣といい、年3回処分しています。また、スクリーンを通り過ぎた排水は浄化処理され、処

理水は水路へ放流されますが、この過程において生じた汚泥を毎月1回搬出していきます。令和3年度のし渣は710kgは産業廃棄物として北本市にある処分場へ、汚泥は296トンを本市管理のひばりヶ丘桜泉園に搬出していきます。

(議案第38号)
令和3年度幸手市幸手駅西口
土地区画整理事業特別会計
歳入歳出決算の認定について

質疑
今年度は収入総額が4億194万6095円、支出総額が3億1435万1242円という現状を踏まえ、今後の区画整理事業の見通しとお考えを伺います。

答弁
国庫支出金の動向を注視し、より有利な交付金制度を活用できるように、財源の確保に努めながら進めてまいります。今後の区画整理事業の見通しについては、地権者の方々と調整を図りながら、都市計画道路西口停車場線、都市計画道路杉戸・幸手・栗橋線及び駅周辺の整備を優先して行つてまいります。

令和3年度一般会計・特別会計の決算状況

(単位：円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
一般会計	19,548,243,285	17,992,891,916	104,170,000	1,451,181,369
国民健康保険特別会計	5,958,768,244	5,802,478,099	0	156,290,145
後期高齢者医療特別会計	689,242,682	682,665,380	0	6,577,302
介護保険特別会計	4,211,816,179	3,982,088,810	0	229,727,369
農業集落排水事業特別会計	41,658,766	38,085,041	0	3,573,725
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	401,946,095	314,351,242	0	87,594,853
水道事業会計(収益的収支)	1,049,217,247	957,409,927	0	91,807,320
公共下水道事業会計(収益的収支)	680,233,450	657,558,480	0	22,674,970

※水道事業会計及び公共下水道事業会計は税抜きです。

(議案第49号)
令和4年度幸手市一般会計
補正予算
(第5号)

質疑

補正額11億5118万1千円の内容について伺います。

答弁

令和3年度決算における実質収支額は14億5118万1千円となりました。令和4年度予算における前年度繰越金については、当初予算で3億円計上してあります。従い、実質収支額との差額となる11億5118万1千円を今回の補正予算に計上するものです。

質疑

交付金のうち返還する必要があるものについて伺います。

答弁

今回の補正予算で第22節償還金利子及び割引料に計上している補助金精算返還金は、令和3年度に交付を受けた国県支出金に対し、事業費の確定に伴って返還するものです。合計いたしますと2億5543万5千円となります。

(議案第33号)
令和3年度幸手市一般会計
歳入歳出決算の認定について

賛成討論

四本 奈緒美

令和3年度幸手市一般会計歳入歳出決算において実施された施策を見ますと、次亜塩素酸水生成器等購入事業は、本庁舎とウエルス幸手、市内全小中学校に機器を設置し、新型コロナウイルス感染症の予防が出来た事を評価します。

交通安全対策事業として、第2保育所前道路の整備は、交通事故を防止し、児童・保護者の安全と命を守ることが出来たと大いに評価をします。

がん検診推進事業は、新型コロナウイルス感染症の不安のために受診を控える市民に対し、検診日の追加をした事は、市民の健康と安心を守る事が出来たと評価します。

新生児聴覚スクリーニング検査費用の助成事業は、聴覚障害の早期発見、治療につなげる事が出来たと評価します。

農業経営者支援事業は、米価の下落に伴い農業収入が減少する農業者を支援することが出来たと評価します。

防災ハザードマップ作成事業は、洪水・地震ハザードマップを更新。マイタイムラインを添付し、全世帯に配布された事は、市民の防災意識の向上につながったと大いに評価をします。依って、公明党は賛成討論とします。

賛成討論

武藤 壽男

令和3年度は、コロナ禍の中で各種行事や事業が中止変更され、主にコロナワクチン接種事業や地方経済対策、生活支援のための、地方創生臨時交付金事業が実施されました。

一般会計歳入歳出決算は、歳入決算額約195億円、歳出決算額約180億円、実質単年度収支は、9億7296万円の赤字でした。

歳入の43・8%の自主財源の主な市税は66億円、56・2%の依存財源では、地方交付税約30億円、国庫支出金は、約43億円でありました。

歳出は、概ね民生費が75億円、衛生費は20億円であり、内新型コロナウイルスワクチン接種事業は、総額6億4132万円、延べ10万7204回の接種が行われました。生活、経済対策支援のための交付金事業

3億1518万円が実施されています。

義務的経費が89億円と歳出の49・3%を占め、投資的経費は、歳出の僅か2・4%の4億円となり、今後は積極的な事業推進をお願いいたします。

財政調整基金は約10億円であり、緊急時に備える基金残高としては、厳しい状況にあります。多くの課題が山積し適正な市債と国庫支出金等を充分活用し、計画的な財政運営を求め、賛成討論とします。



人事案件

教育委員会委員

会田 研司 氏

を任命することに同意しました。